

やんばるの道

2005-2006

沖縄県北部地域における 道路行政の平成17年度達成度報告書/平成18年度業績計画書

路上越波（一般国道58号国頭村佐手）



「とるば」撮影会（一般国道58号恩納村仲泊から山田方面を望む）



夏季観光シーズンの渋滞（一般国道58号恩納村恩納）



カニさんお助け隊（一般国道58号大宜味村喜如喜）

平成18年11月

内閣府沖縄総合事務局
北部国道事務所

沖縄県北部地域におけるみちづくりの基本的な考え方

新しいみちづくりの実践に向けて

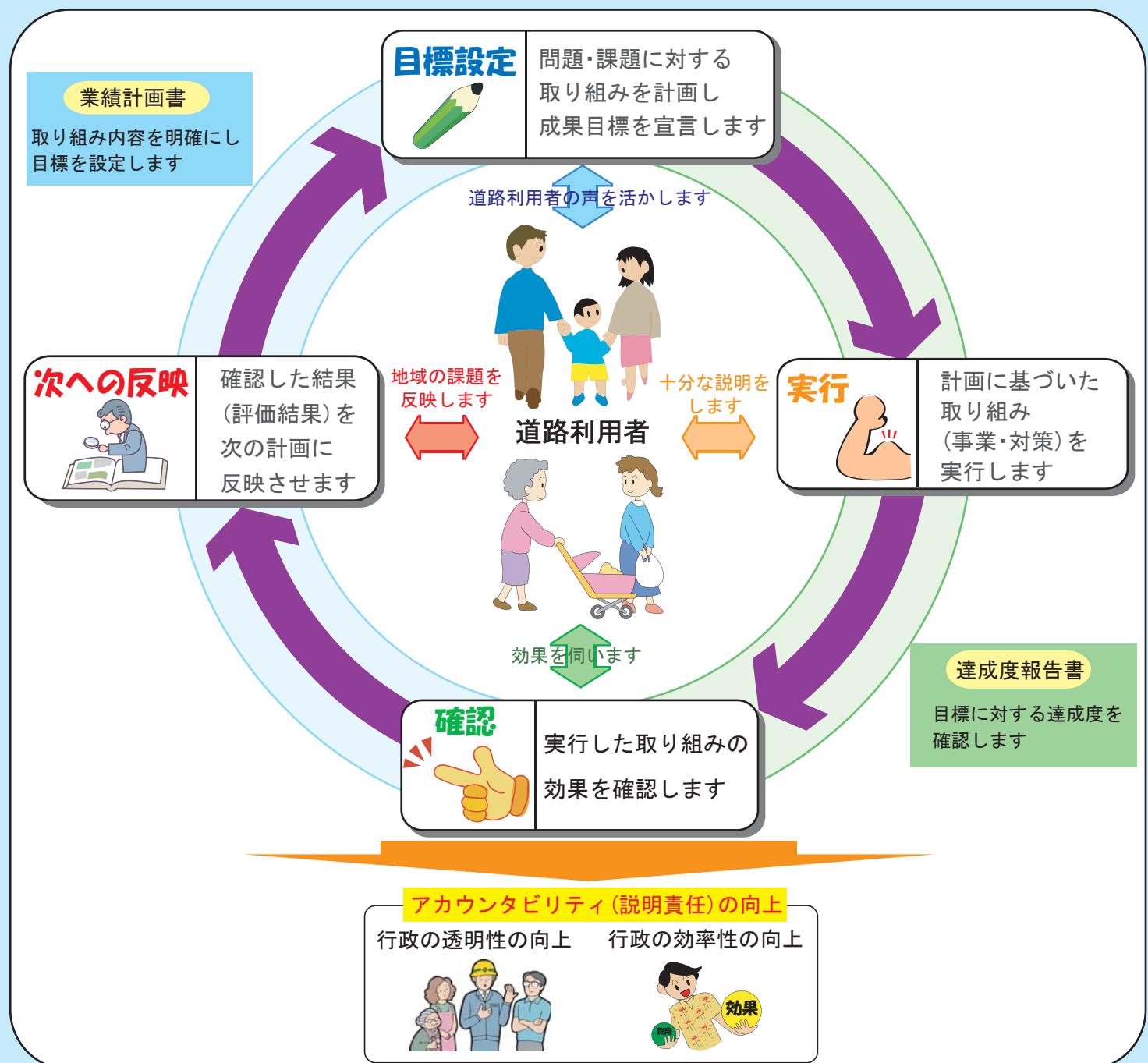
これから道路行政は、道路利用者の意見に基づいて、最適で良質な道路交通サービスを提供していく必要があると考えています。

そこで、道路行政の転換を図り、「道路行政マネジメント」の取り組みを実施しているところです。

道路行政マネジメントとは？

道路行政マネジメントは、道路利用者のニーズにあった事業や施策を実施し、道路利用者の満足度の向上を実現するための仕組みのひとつです。

取り組み内容は、目標達成に向けて「目標設定」した施策を「実行」し、その達成状況を「確認」する「達成度報告書」を公表し、その結果について「次への反映」を行い、次年度の「目標設定」をした「業績計画書」を公表するというプロセスを1年ごとに進め、道路利用者と積極的にコミュニケーションを図っていくことで、アカウンタビリティ（説明責任）の向上を図ります。



沖縄県北部地域におけるみちづくりのテーマ

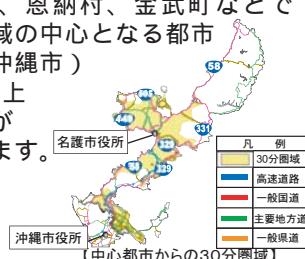
現状と課題

北部地域は山林が約7割を占め、貴重な動植物の生息地であるとともに恵まれた海浜景観を有しております。休日やレジャーシーンには、多くの人々が訪れて来ます。

一方で、北部地域では、「国頭方面を中心として移動に時間要する」「レジャーシーンに交通渋滞が起きている」「通行規制時に孤立してしまう集落が残されている」など、北部地域の住民生活に支障をきたす道路交通の課題を抱えています。また、貴重な動物が車に轢かれるなど「ロードキルの発生」も大きな課題の一つとなっています。

移動に時間要する地域が存在

国頭方面、恩納村、金武町などでは、北部地域の中心となる都市（名護市、沖縄市）まで30分以上かかる地域が存在しています。



大雨や災害時の通行規制により集落が孤立

北部地域では降雨および越波に伴う通行規制が実施され、国頭村、東村、名護市のいくつかの集落が孤立してしまいます。



【越波危険箇所(国頭村佐手)】【座津武トンネル北側抗口方面危険箇所】

ロードキルの発生

国頭村、大宜味村などでは、オカガニやイワガニが満月の夜に産卵のために道路を横断するため、通行車両によって多くのカニが轢かれてしまいます。このほか、カメやヤンバルクイナなどへの被害も懸念されます。



【道路を横断しようとするカニ】

レジャーシーズンにおける渋滞の発生

名護市や観光リゾート地である恩納村周辺では、休日やレジャーシーンの交通集中により渋滞が発生しています。



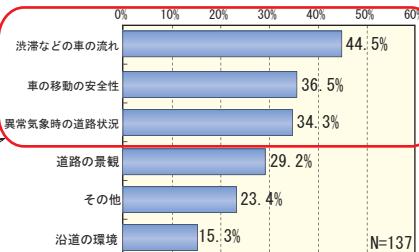
【恩納村の夏季観光シーズンの渋滞】【名護市の観光シーズンの渋滞】

北部地域のみなさまからの意見

～現在の道路交通状況に対する指摘と
これからの道づくりに対する要望～

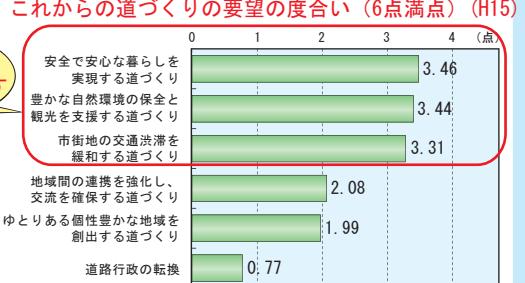
道路交通状況に対する指摘の度合い(H17)

「渋滞などの車の流れ」
「車の移動の安全性」
「異常気象時の道路状況」
などに指摘が集まっています。



これからの道づくりの要望の度合い(6点満点)(H15)

要望が高くなっています



これからの北部地域における道ビジョン

北部地域では、道路利用者のニーズに対応するため、以下の5つの「道ビジョン」に従って、道路利用者のメリットを重視しながら道路行政を進めています。

1 安全で安心な暮らしを実現する道づくり

災害などに強く、危険が少ない道路を整備し、高齢者・子供・障害者など誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現を目指します。



2 豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり

豊かな自然環境を保全しつつ、沖縄らしさに配慮した観光の支援を目指します。



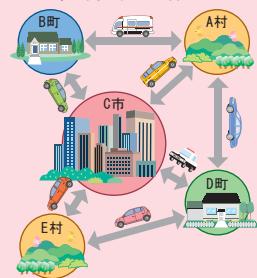
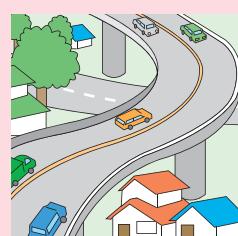
3 市街地の交通渋滞を緩和する道づくり

市街地など渋滞が発生している地点について、バイパスの整備や交差点改良などにより、交通渋滞の緩和を目指します。



4 地域間の連携を強化し、交流を確保する道づくり

地域間の連携・交流を図るため、幹線道路ネットワークの形成を目指します。



5 ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり

電線類の地中化などにより快適なコミュニティ空間を創出し、地域の活性化の支援を目指します。



平成17年度の取り組みと平成18年度の取り組み

1 安全で安心な暮らしを実現する道づくり

平成17年度の取り組み



- 平成17年度は、死傷事故が発生する割合を約2割削減

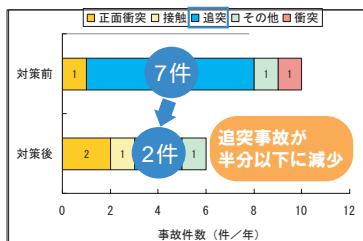


- 計画に基づく事故対策の実施
⇒死傷事故が多発している箇所において対策を実施

取り組み事例：一般国道58号 名護市 宮里3丁目交差点



●対策前後1年の事故件数の比較による対策効果の評価



カラー滑り止め舗装を実施

●地域住民のみなさんとの協働による対策効果のチェック



参加者全員が交差点の安全性が向上したと実感していることを確認



対策内容と効果の確認をする協働パトロールを実施

データと地域住民の実感の両方で効果を把握！

⇒追突事故の対策としては
カラー滑り止め舗装の整備
が一定の効果があることが判明



地域住民のみなさんとの協働

確認



～死傷事故が発生する割合～

目標
約2割削減

実績
約1割削減

⇒沖縄県北部地域全体の死傷事故率は、4.1件/億台キロ削減したもの、目標は達成できませんでした。

⇒ただし、死傷事故率が高い箇所で重点的に対策をした結果、対策箇所では事故削減効果が見られています。

平成18年度の取り組み

次への反映



- 平成18年度は、死傷事故が発生する割合を約1割削減

⇒死傷事故率の高い箇所を中心に対策箇所を抽出し(139箇所)、平成18年度は31箇所で対策を実施

- 通行規制時の集落孤立解消に向けた防災対策を推進するとともに、事前通行規制区間の解消に向けた委員会の実施

■事故対策（地域と一体となった事故対策）

交通安全対策懇談会の開催

事故が多発している一般国道58号東江4丁目交差点を対象として、懇談会を開催し、事故対策の計画策定・対策実施・効果の把握を地域住民と連携して進めます。

■対策（案）

歩道を設置する



懇談会

■スケジュール

交通安全対策懇談会のスケジュール

【懇談会メンバー】

対象箇所をよく利用する地域住民を選定、名護市・名護警察署、東江小学校

【スケジュール】

- 平成17年度：対策案について詳細設計済み
- 平成18年10月：懇談会開催（事業内容の確認）
- 同11～12月：対策の設計・工事開始
- 平成19年3月：対策完了
- 平成19年10月：懇談会開催（事業効果と評価および新たな問題等のフォローアップ）

■防災対策

一般国道58号謝敷拡幅事業・座津武防災事業を推進し、通行規制区間の解消を目指します。



路上越波の状況
(謝敷拡幅事業区間)



一般国道58号通行規制区間検討委員会の開催

【スケジュール】

- 第1回（平成18年9月） 現地視察、現状及び方針、方針の整理
- 第2回（平成18年10月） 規制解除の検討
- 第3回（平成19年3月） 一部区間規制解除の予定、委員会「提言」のまとめ

2 豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり

平成17年度の取り組み

目標設定



- 平成17年度は、道路に対するレンタカー利用者満足度を0.1ポイント向上
- 観光地らしい景観や豊かな自然環境の保全

実行



- 観光地としての植栽維持の実施
- 観光シーズンにおける渋滞対策の実施
⇒イベント時におけるパーク&バスライド社会実験の実施

取り組み事例：ボランティア・サポート・プログラムの実施

地域住民によるボランティア活動により、道路植栽が維持されています。
PRや表彰を通じてボランティア活動に対する認知度が向上し、参加団体数が増加しました。



【ボランティア活動風景】

取り組み事例：後方カットルーバーの設置

国頭村や大宜味村の一般国道58号に特殊照明「後方カットルーバー」を設置し、特殊光でウミガメの子供が迷子になるのを防ぐ試みを行いました。

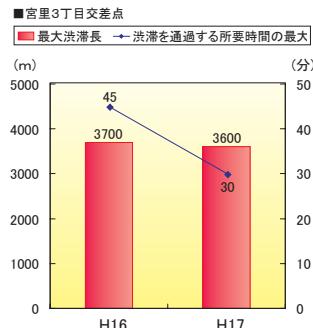


【後方カットルーバー】

取り組み事例：海洋博花火大会におけるパーク&バスライド社会実験の実施

宮里3丁目交差点での最大渋滞長は100m削減し、同交差点を通過する所要時間も約15分短縮されました。

利用者の評価も高く、継続意向の要望が高くなっています。



【渋滞状況(宮里3丁目交差点)】



【社会実験の風景】

確認



～レンタカー利用者満足度～

目標
4.0

実績
4.2

⇒観光客（レンタカー利用者）の道路利用に対する満足度は4.2点（5点満点）となり、目標を達成しました。

⇒また、「道路景観」については、観光客の8割以上が「満足」または「やや満足」と評価しています。

平成18年度の取り組み

次への反映



- 観光地での歩行者と自転車等の周遊性や快適性向上による交通手段の転換
- 貴重な自然環境との共生を図るための活動の実施

■レンタサイクル社会実験の実施

地域の方や観光客に自転車を利用して恩納村の魅力を知つてもらうことを目的としてレンタサイクル社会実験を実施します。



【自転車貸し出し場所】

■貴重な自然環境との共生

海に向かうオカガニやイワガニなどの「ロードキル」を防ぐことを目的に、『カニさんお助け隊』を結成、パトロールを実施します。



【カニさんお助け隊の結成】



・住民のみなさんと写真家による「とるば」撮影会の実施

やんばるの豊かな自然風景を写真に収め『とるば』に投稿するとともに、『とるば』の広報を買って頂くことを目的として実施します。



【「とるば」撮影会風景】

【レンタサイクル活動風景】

3 市街地の交通渋滞を緩和する道づくり

平成17年度の取り組み

目標設定



- 平成17年度は、道路渋滞による損失時間を約50%削減

実行

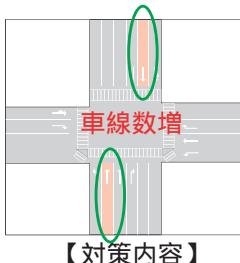


- 計画的な事業の実施
⇒渋滞が激しい箇所において対策を実施

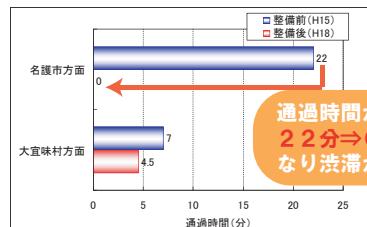
取り組み事例：一般国道58号名護市伊差川（西）交差点

目的

休日における観光客やレジャー客による原因で発生している渋滞を緩和すること



●対策前後での交差点通過時間の比較による対策効果の評価



通過時間が
22分⇒0分となり渋滞が解消

対策前



対策後



●地域住民のみなさんとの協働による対策効果のチェック



参加者全員が渋滞が解消したと実感していることを確認

データと地域住民の実感の両方で効果を把握！

確認



～道路渋滞による損失時間の削減～

目標
約50%削減

実績
約10%増加

⇒沖縄県北部地域全体の渋滞損失時間は、平成16年に比べて約10%増加したため、目標は達成できませんでした。
⇒ただし、計画に基づき対策を実施した箇所では渋滞の削減効果が見られています。

平成18年度の取り組み

次への反映



- 平成18年度は、道路渋滞による時間損失を約50%削減
⇒依然として著しい市街地の朝夕の渋滞を緩和させるため、市街地を迂回させるバイパス等の整備の促進と、休日やイベント実施日の路上工事を抑制
- うるま市石川地区中心部での一般国道329号の渋滞を緩和・解消させるため、沿道住民と一緒にした渋滞対策を検討

■路上工事の抑制（路上工事抑制カレンダーの導入）

土曜、日曜、祝日や旧盆、また各種祭りなどのイベントの実施日は、特に交通量が多くなり渋滞が発生しやすい日、これらの日をカレンダー（路上工事抑制カレンダー）に明示し、路面の補修や清掃などの直轄工事は抑制します。

また、電気・電話・水道工事等についても工事関係者に通知して、これらの日は路上工事を行わないようにします。



【路上工事抑制カレンダー（7～9月の場合）】

平成18年度は、路上工事抑制日は117日設けています。

■渋滞対策（沿道住民と一緒にした渋滞対策）

うるま市石川地区中心部での一般国道329号の渋滞を緩和・解消するために、沿道住民の方々に道路モニターになって頂き、同国道の利用状況や渋滞発生状況等の意見を踏まえ、一緒に対策を考えしていくことで、より効果的な対策を検討していきます。



うるま市石川地区渋滞対策 道路モニターの活動予定

【スケジュール】
第1回（平成18年11月） 意見交換会（渋滞の現状の把握）
第2回（平成18年12月） アンケート（道路の利用状況に関する内容）
第3回（平成19年1月） 意見交換会（現場視察）
第4回（平成19年2月） 意見交換会（渋滞対策の検討）

【渋滞発生箇所】

お出かけ前に役立つ北部地域の道路情報の総合サイト



アドレス (<http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/>)

yanbaru地域の貴重な動植物や
イベント情報、道路事業の紹介を行っています

最新の道路の（工事による）規制
状況や災害状況を配信しています

北部国道事務所が実施している
事業の供用年を宣言しています

道路に関する最新の話題を提供
しています

メールマガジンによる道路に関する
お役立ち情報を配信しています

道路状況の画像を配信しています



沖縄北部地域のアウトカム指標

道ビジョン	アウトカム指標※	H17目標値	H17実績値	H18目標値	H18年度の主な取り組み
安全で安心な暮らしを実現する道づくり	道路交通における死傷事故率	30.4件 /億台キロ	33.1件 /億台キロ	29.8件 /億台キロ	・名護東道路 ・一般国道329号宜野座改良 ・一般国道329号金武バイパス ・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道58号東江4丁目交差点改良
	事前通行規制実施に伴う孤立人口	2,100人	2,100人	2,100人	・一般国道58号謝敷拡幅 ・一般国道58号座津武防災
	一般医療病院まで30分以内で安全かつ安定的に到達できる人の割合	75.7%	75.7%	75.9%	・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道329号宜野座改良 ・一般国道329号金武バイパス
	役場まで10分以内で安全かつ安定的に走行できる人口の割合	60.0%	60.0%	60.7%	・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道329号宜野座改良 ・一般国道329号金武バイパス
豊かな自然環境の保全と観光を支援する道づくり	観光客（レンタカー利用者）の道路満足度	4.0	4.2	4.3	・観光客（レンタカー）アンケート調査の実施 ・レンタサイクル社会実験の実施
	夜間騒音要請限度達成率	100%	100%	100%	————
	I C から観光地までの緑のネットワーク率	63.3%	64.2%	66.5%	・沖縄県や市町村の事業の推進・調整
	休憩施設や情報配信・交流施設（道の駅・ロードパーク）の整備率	74.0%	70.0%	74.0%	————
市街地の交通渋滞を緩和する道づくり	道路渋滞による損失時間	4.2百万人 時間／年	9.0百万人 時間／年	4.2百万人 時間／年	・名護東道路 ・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道329号金武バイパス
	E T C 利用率	32.7%	21.7%	56.9%	・E T C 割引の継続
	路上工事時間	122時間 / km・年	181時間 / km・年	117時間 / km・年	・占用工事等連絡協議会の継続開催 ・路上工事抑制カレンダーの導入
地域間の連携を強化し、交流を確保する道づくり	日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	70.6%	70.2%	70.8%	・名護東道路 ・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道329号宜野座改良 ・一般国道329号金武バイパス
	港湾まで30分でアクセスできる市町村人口の割合	74.7%	74.7%	75.2%	・名護東道路 ・一般国道58号恩納バイパス ・一般国道58号恩納南バイパス ・一般国道329号宜野座改良 ・一般国道329号金武バイパス
	規格の高い道路を使う割合	11.47%	10.44%	10.93%	・名護東道路
ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり	無電柱化整備率	63%	62%	75%	・一般国道329号石川地区電線共同溝 ・一般国道329号金武地区電線共同溝
道路行政の転換	道路利用者満足度	3.1	3.0	3.1	・グループインターネット調査 ・道路に対する満足度調査 ・観光客（レンタカー利用者）道路満足度調査 ・メールマガジンの配信 ・協働パトロール
	ホームページアクセス数	11.4万 アクセス／年	4.8万 アクセス／年	15.0万 アクセス／年	・メールマガジンの配信 ・ホームページの充実
	ボランティア・サポート・プログラムの参加団体数	毎年増加	17団体	毎年増加	・ホームページ等を活用したPR

※アウトカム指標とは、事業・施策の成果について、数値を用いて目標・達成度を明確に表す指標

皆様のご意見・ご感想をお寄せください

北部国道事務所

〒905-0019 沖縄県名護市大北4丁目28番34号
TEL 0980-52-4350/FAX 0980-52-1131
<http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/>



北部国道事務所